

# 小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- ② 一問一答方式

質問件名 バリアフリー化及びユニバーサルデザインを進め、暮らしやすいまち小平に

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

国が進めてきたバリアフリーは、90年代の法制化の流れを経て東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に推進を強めましたが、実際に自分の暮らしを見回してみても、それほど進んでいるとは感じられません。

「小平市第四期地域保健福祉計画 小平市第三期福祉のまちづくり推進計画」の第4章 第三期福祉のまちづくり推進計画の中に「ユニバーサルデザインの考え方に基づいた福祉のまちづくりを、引き続き推進します。」との記載があります。小川駅西口地区再開発ビルの公共床の基本設計はできており、駅前広場を含める工事が始まっています。また、中央エリアでは設計のためのワークショップやアンケートをおこない、小平市立第十一小学校での統合計画もありますが、バリアフリー化等を進めていくうえで、障がいのある人や高齢者、子育て中の人、ジェンダーの視点など、配慮の必要な当事者の声を聴くことは大変重要です。

小平・生活者ネットワークは昨年、公共施設や商業施設のトイレのバリアフリー調査をおこないました。車椅子利用者の人にも意見をお聞きしたところ、いわゆる「だれでもトイレ」といわれているところが使いにくかったり、使えないところもありました。既存の施設も含め新たな開発や施設は、長きにわたり使っていくことから、トイレに限らずだれもが使い易いものにしていくことが必要と考え以下の質問をします。

1. 小平市公共施設マネジメント推進計画(2022-2031)のなか、1章の基本的事項の④長く活用できる施設には、誰でも利用できるユニバーサルデザインに配慮した整備を進める。とありますが、ユニバーサルデザインの施設を考えるうえで、どのような視点が大切だと考えていますか。
2. 小川駅西口地区再開発ビルの公共床および駅前広場における障がい児・者への配慮について
  - ① 障がいのある当事者の声をどのように把握していますか。
  - ② 工事期間中における車椅子利用者や視覚障がい者の動線上の安全の確保はどのようになっていますか。
3. 中央エリアのバリアフリー対応については、公共施設マネジメント課が担当していると思います。これまでのワークショップでの意見を含め、具体的にどのような計画になっていますか。
4. 小平市立第十一小学校は、公共施設と統合することになっています。そのユニバーサルデザイン化について、それぞれの課が横断的に連携できていますか。
5. 既にある公共施設や学校などには、バリアフリー対応がされています。当事者が問題なく使うことができているかをどのように検証していますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2023年 5 月 29 日 小平市議会議長 殿

小平市議会議員 氏名 柴尾ひろみ

受付番号【           】

27	26	25	24

(    /    )